

2025年 春号

社会福祉法人 慶和会
障害者支援施設 まどか園

福岡県大野城市大字瓦田127-48

理事長：野田益男
編集・発行：広報委員会
TEL: 092-504-6537

↑短い秋でしたがまどか園の紅葉は美しい姿を見せてくれました。その後の冬では何度も寒波がやってきて園内が一面雪化粧となったことも。そして春にはまた桜の花が咲き誇り全体を薄桃色に染めてくれることでしょう。令和7年度、出発！

私達は「へとへと」になるまで精一杯、利用者のために働きます

令和5年6月理事長就任以来、まどか園は利用者満足を提供できているか、「生き生きわくわく」働けているか、利用者、そのご家族、地域と働く仲間である「人」が幸せになっているかを日々考えております。そのために利用者が最適な生活を送れるようにサポートいたします。職員は一人ひとりが利用者満足を全力で追求し、心に寄り添い明るく楽しく働くことが大切です。また、職員が働きがいと生きがいを実感し、長期的に安心して老後まで働ける施設にすることです。そして、



職場環境の向上によって心のゆとりを生み、プライベートでも充実した幸せな人生の実現を目指します。私達リーダーは先頭に立ち、利用者、そのご家族、地域の方々、職員全員が一丸となって、皆様の生活の安定と向上を目指します。中長期計画により未来志向の事業展開と、戦略的な事業経営を実施し、利用者、社会、福祉施設のために熱意を持って仕事ができる、明るく楽しい活気のある生き生きした職場にするために、私達は「へとへと」になるまで働きます。〈理事長:野田益男〉

イベント

この約半年間に行なわれたイベントを一挙にご紹介。11月「お楽しみ会」、12月「クリスマス会」、2月「節分会」、2月「VD&喫茶会」などを行ないました。

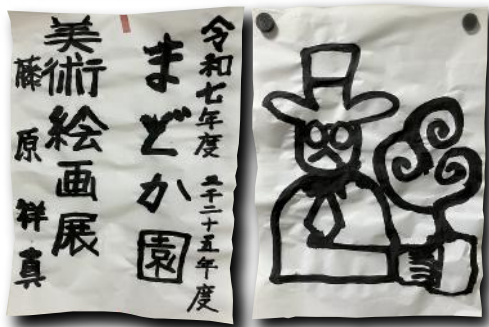
11月1日、我が園は創立記念日を迎え、24周年目へと突入いたしました。これからも利用者さんに園での生活を心から楽しんでもらおうと、5日に「お楽しみ会」を開かせていただきました。12月には、その余韻が冷めやらぬなか、2024年の最後も笑顔で終わっていただこうと「クリスマス会」を開催。職員で結成した漫オコンビのコントで大笑いしていただきました。年が明け、2月には恒例「節分会」にて恵方巻、「バレンタインデー&喫茶会」ではスイーツをご提供。皆さんに心もお腹も満たしてもらおうと職員一同「へとへと」になるまで頑張りました！



↑①「お楽しみ会」にて「ファーストハーモニー」さんによるオカリナコンサートが開かれました。／②まどか園の名物グループ「Specialist!」。今回はS次さんの追悼コンサートに…
③「クリスマス会」で行なわれたビンゴゲームの優勝者に賞品を授与。園長の顔のレリーフが入った記念皿…って誰が喜ぶんかい！／④2025年の節分は2月2日、恵方は西南西でした。

美術館

今、まどか園ではなぜか美術作品作りがブームを迎えております。その新進気鋭なアーティストたちによる個性あふれる作品たちをどうぞご覧ください。



↑藤原祥真・書き初め
解説：2025年の初夢か?!



↑川原垣拓也・ドローイング&貼り絵
解説：園の夜空に花火。マグリット風。



↑藤井久美子・貼り絵
解説：目指せ令和の山下清！



↑金谷真知子・貼り絵
タイトル「まこちゃんまこちゃん」



↑荒瀬正美
タペストリー
タイトル「パーティ、キラキラ星」



↑池田ゆかり・ドローイング
タイトル「無題」

慶和会グループ4施設の様々な日常を写したスナップショットを集めました。特別なイベントだけでなく普段の生活も、キラキラした大切なひと時です。

障害者支援施設 まどか園



コロナ禍によりやむなくお休みしていたドッグセラピーが復活しました。まさしくワン！ダブル。



我が園のノッポさんこと鞆野支援員が手作りの神社を製作。外出することなく初詣ができました。



おなじみ九州プロレスから阿蘇山さんが来園。迫力のお姿に記念撮影希望者が殺到しました。



「バレンタインデー&喫茶会」にて、カウンターに並べられたかわいスイーツには大行列が。

放課後等デイサービス まどか園



ゲストにウクレレおじさんが登場！愉快なお方で素敵な演奏会になりました。また来てね。



まどかサンタとトナカイが子どもたちにプレゼントを届けに来てくれたよ。笑顔がいっぱいに。



バレンタインデーにハートのステッキを作りました。メッセージを書いて大切な人へプレゼント。



節分に鬼のお面を作ったよ。オリジナリティ溢れる素敵なお面が出来上がりました。鬼は～外～。

児童発達支援 さんさんキッズ



ホイップや好きなお菓子をのせてケーキ作りをしました。美味しそうなケーキが完成～。



お店屋さんごっこをしました。店員さんやお客さんになりきり会話をしながら楽しみました。



珍しい雪に大興奮な子ども達。雪合戦や雪だるまを作って、寒さなんか忘れて楽しみました☆



近くの公園までお出かけ。みんなで落ち葉を拾ったり、お友達と追いかけて遊びました。

放課後等デイサービス さんさん



宿題が終わるとその日の決まった活動までは自由時間。パソコンでゲームをしたりしています。



久留米市にある成田山明王辞寺に行きました！仏像を見たり地獄体験をしたり遊び尽くせました。



ハロウィンケーキ作り！クッキーに模様を描いてケーキに飾りつけて、楽しく作れました～。



公園の落ち葉で遊びました。風にのせて振りまいてみたり…落ちていく葉っぱがきれいでした♪



作：鞘野 明
まどか園の生活支援員。漫画好きが高じて自らもペンをとるアマチュア漫画家。その風貌から「和尚」と呼ばれ親しまれている。

外出支援にて涙の初詣の巻



NEWS

我が園の生活支援員である浅草さんが、RKBの「世界一の九州が始まる！」(4月13日10:15～放送)という番組で紹介されることになりました。



↑これが山鉤。今までになかった画期的な便利グッズ。

浅草さんは二刀流で、介護士として働く傍ら、ご自宅の工房にて博多鍔を製作している鍛冶屋さんでもあります。昨年、博多人形で知られる中村人形(傀藝堂)さんとコラボして「山鉤(ヤマカギ)」というアイテムを作り、これが話題になったのです。山鉤とは博多祇園山笠にむけて作られた商品で、長法被の角帯に装着して使う信玄袋などを下げるフックのようなものです。浅草さんはその山鉤を介護の現場でも活用。その様子の撮影がまどか園を舞台に行なわれ、利用者さんも協力出演いただきました。ぜひぜひご覧になってみてください。

↓身体にひとつフックが出来ただけで超便利なのだ。



職員募集



現在「まどか園」では、スタッフを数名募集しています。詳しい情報は、ハローワークのインターネットサービスを検索後、事業所番号4018-11948-1を入力しご確認ください。来たれ！熱き福祉人!!

編集後記

「人間は二度死にます。まず死んだとき。それから忘れられた時。」とは永六輔さんの著書「二度目の大往生」に書かれた一節です。多くの方が共感する名言だと思います。どちらかという二度目の死のほうが悲しく感じるのは私だけでしょうか。上の漫画に出てくるY子さんのお母様にはまだ二度目の死はやってきていないのでしょうか。Yさんがいる限り、死なないのです。〈編集部：浅草〉